

消費者安全調査委員会の動き 第36号

(平成28年4月15日)

今回の内容：会議情報

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第43回消費者安全調査委員会（平成28年4月15日）

- 家庭用ヒートポンプ給湯機の事案
意見のフォローアップを公開で実施しました。調査委員会が平成26年12月にリスク低減策を取りまとめ関係省庁に意見した家庭用ヒートポンプ給湯機の事案について、その後の取組状況を関係省庁からヒアリングしました。
- ガス湯沸器による一酸化炭素中毒の事故
調査委員会が平成26年1月に述べた意見のフォローアップとして、経済産業省がその後のどのような措置を講じているか、事務局から報告がありました。
- 体育館等の床から剝離した床板による負傷事故
アンケート調査の実施にかかる方法及び内容について事務局から説明がありました。
- エレベーター事故
報告書素案について事務局から説明を受け、部会での議論を踏まえつつ、主に再発防止策と意見について審議しました。
- ハンドル形電動車椅子の事故
事務局から、報告書の素案について報告がありました。
- 軽井沢スキーバス事故
国土交通省の検討会の中間整理等に示された対策について、事務局から説明がありました。論点を4つの問題、①人材確保、②運賃やコスト、③監査、④運輸安全マネジメントにしぼり、消費者の視点でみて現在検討されている対策は十分と考えられるか、再発防止に必要なものの見方は十分かを議論しました。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち2件については調査を行わないことになりました。残りの案件（44件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で調査委員会において判断していくこととなります。

部会の動き

- 工学等事故調査部会（4月上旬に開催）
 - ・家庭用コージェネレーションシステム：運転音の現地測定の結果の概要と、追加調査の可否について事務局から説明を受けて議論し、追加測定を実施することとなりました。
 - ・ハンドル形電動車椅子：報告書の素案について事務局から説明を受け、主に再発防止策と意見について議論しました。
 - ・体育館等の床から剝離した床板による負傷事故：アンケート調査の内容について事務局から説明がありました。
 - ・エレベーター事故：報告書素案について事務局から説明を受け、主に再発防止策と意見について審議しました。